

日本看護協会 福井トシ子会長 をお迎えしました。

3月7日(木)に「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築—地域に看護活動の拠点を拡充するための日本看護協会の取り組み—」と題して、福井トシ子会長にご講演をいただき、190名が参加されました。

講演会では、最新の看護の動向、全世代型地域包括ケアシステム構築に向けた日本看護協会の取り組み、地域共生社会の実現に向けた取り組みの実際について、とてもわかりやすくお話をしていただき、福井会長のパワー溢れる講演にぐいぐい引き込まれ、あっという間の2時間の講演会でした。

福井会長からたくさんの元気と勇気をいただき、参加者一人ひとりが、自組織でできること、地域でできることは何かを考え、行動していくことの大切さを学びました。



参加者の声

- 最新の看護の動向がよくわかり、日本看護協会の取り組みがよく理解できました。
- まずは、自分の地域にある資源を把握し、地域での取り組みについて検討していきたい。
- 地域連携の課題が見え、地域の保健師とどう連携を図っていくかのヒントがもらえた。
- 街の看護部長の視点を持ち、何ができるか考え、行動していきたい。
- 自分の立ち位置で何ができるか真剣に考え、一歩先へ活動をしたいと強く思った。
- 看護管理者として地域へ広い視野を持ち、地域と連携するための取り組みのヒントが得られた。

成田会長からのメッセージ

地域包括ケアの第一歩は、自分が地域に出て活動し、自分の住んでいる地域・組織が存在する地域を知ることだと思います。

福井会長も、1回/月、保育園でのボランティアをしていると言われていました。あなたも地域に出てみませんか？

子育て中の方は、学校の役員を通して地域を知るのも1つ。何をしたら良いか悩む方は、「まちの保健室」のボランティア登録をして、1回/月ボランティア活動してみませんか？

病院・施設の中だけでは見えない、地域で生活する人たちが見えてきます。

